|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度） | 小学校生活科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい 生活」**年間指導計画作成資料****【２年（下巻）】** |

令和2年（2020年）6月5日版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 春だ 今日から ２年生 | 教科書のページ | 下p.1～8 |
| 配当時数 | 6時間 | 活動時期 | 4～5月 | 学習指導要領の内容 | (3) (5) |
|  |
| 単元の目標 | 春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して，身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け，季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き，身近な自然の様子を取り入れ，自分の生活を楽しくしようとするとともに，安全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して，季節ごとに自然が変化していることや，季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。 | 春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して，身近な自然の変化や特徴を探したり，地域の人や場所の働きを見付けたりしている。 | 春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して，身近な自然の様子を取り入れ，自分の生活を楽しくしようとするとともに，安全に気を付けて生活しようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| 校ていで 春を さがそう |
| ・これまでの経験を基に季節の変化を予想しながら校庭の自然を観察し，身近な自然が毎年同じ変化を繰り返していることに気付くとともに，それらを生かして自分の生活を楽しくしようとすることができるようにする。p.2～3 | 3 | ❶～❷校庭で，春の動植物を観察したり，春を感じられるものを探したりする。❸気付いたことや感じたことを記録カードにかいたり，友達と伝え合ったりする。 | ［知技］身近な自然が，毎年同じ変化を繰り返していることに気付いている。［思判表］これまでの経験を基に，季節の変化を予想しながら春の自然の特徴を探している。［態度］季節ごとの自然のよさを実感し，それらを生かして自分の生活を楽しくしようとしている。 |
| 春の まちを 歩こう |
| ・安全に気を付けて学校の周りを歩き，季節に合わせて自分たちの生活が変化していることに気付くとともに，地域の人や場所の働きを実感し，安全に生活しようとすることができるようにする。p.4～5 | 3 | ❶学校周辺の地域を歩く計画を立てる。❷学校周辺の地域に出かけ，安全に気を付けて歩いたり地域の人と適切に関わったりしながら，春を探す。❸教室に戻り，まちの絵地図を見ながら，気付いたことについて話し合い，記録カードにかく。 | ［知技］季節の変化に合わせて，自分たちの生活やくらしが変化していることに気付いている。［知技（習慣や技能）］身近な地域を歩く際，安全に気を付けて行動している。［態度］地域の人や場所の働きを実感し，自分のくらしに生かして地域で安全に生活しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | ぐんぐん そだて わたしの 野さい | 教科書のページ | 下p.9～22 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 4～7月 | 学習指導要領の内容 | (7) |
|  |
| 単元の目標 | 植物を継続的に栽培する活動を通して，これまでの経験を基に，植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ，植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに，生き物に親しみをもち，大切にしようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 植物を継続的に栽培する活動を通して，植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 | 植物を継続的に栽培する活動を通して，植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 | 植物を継続的に栽培する活動を通して，生き物に親しみをもち，大切にしようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| 野さいを そだてよう |
| ・植物を育てたいという思いをもち，栽培する時期や場所などの条件で分類しながら自分の育てたい植物を決めようとすることができるようにする。p.10～11 | 2 | ❶１年生のときの経験を想起したり教科書を見たりしながら，自分で栽培する野菜を決める。❷たねをまいたり苗を植えたりして，気付いたことを記録カードにかく。 | ［思判表］自分の育てたい植物を，栽培する時期や場所などの条件で分類しながら，これから育てる植物を決めている。 |
| 野さいの せわを しよう |
| ・これまでの経験を基に，植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決め，植物の状況に応じて聞いたり調べたりして世話の仕方を変えていく中で，植物が生命をもっていることに気付くことができるようにする。p.12～13 | 3 | ❶野菜の様子を紹介し合い，必要な世話について話し合う。常時活動 野菜の様子を観察し，必要に応じた世話をする（草取りや施肥，支柱立て，芽かき，網かけなど）。❷～❸野菜の様子を紹介し合ったり，必要な世話について話し合ったりし，野菜の成長の様子や世話の様子などを記録カードにかく。 | ［知技］自分の育てている植物が成長していることに気付いている。［思判表］１年生での経験や身近な人に聞いたことを基に，植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決めている。［態度］育てている野菜の状況に応じて，詳しい人に世話の仕方を聞いたり本で調べたりして，世話の仕方を変えようとしている。 |
| 野さいの ようすを つたえ合おう |
| ・友達と自分の世話の仕方を比べながら，育てている植物に適した世話の仕方を決め，適切な方法で世話を行う中で，異なる植物にも同じような特徴や性質があることに気付くことができるようにする。p.14～15 | 2 | ❶～❷野菜の成長を報告する会を開き，育てている野菜の成長の様子や世話の仕方を紹介し合い，気付いたことを記録カードにかく。常時活動 話し合ったことを生かし，朝の時間や休み時間などを使って植物の世話を続ける。 | ［知技］異なる植物にも，同じような特徴や性質があることに気付いている。［知技（習慣や技能）］適切な方法で，植物の世話をしている。［思判表］友達と自分の世話の仕方を比べながら，自分の植物に適した世話の仕方を決めている。 |
| 野さいを しゅうかくしよう  |
| ・植物を栽培して収穫をする中で，自分が世話を工夫したことで植物が大きく成長したことに気付くとともに，植物を育てることのよさを実感し，これからも継続的に生き物と関わろうとすることができるようにする。p.18～19 | 3 | 常時活動 朝の時間や休み時間などを使い野菜の様子を観察し，熟した野菜を収穫する。❶収穫したときのことを振り返り，気付いたことを紹介し合う。❷～❸かきためてきた記録カードをまとめ，友達と紹介し合う。 | ［知技］自分が世話を工夫したことで，植物が大きく成長したことに気付いている。［態度］植物を育てることのよさを実感し，これからも継続的に生き物と関わろうとしている。 |
| サツマイモを しゅうかくしよう |
| ・これまでに育てた植物との共通点や相違点を探しながらサツマイモを収穫し，サツマイモの成長を喜び，収穫したサツマイモをさまざまな方法で楽しもうとすることができるようにする。p.68～69 | 外 | ・サツマイモを収穫する。・収穫後のサツマイモやつるを利用してできることを考え，みんなで楽しむ。・サツマイモの苗植えから世話，収穫などを振り返り，作品にまとめる。 | ［思判表］これまでに育てた植物との共通点や相違点を探しながら，サツマイモの特徴について話している。［態度］サツマイモの成長を喜び，収穫したサツマイモをさまざまな方法で楽しもうとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | どきどき わくわく まちたんけん | 教科書のページ | 下p.23～32 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 5～6月 | 学習指導要領の内容 | (3) |
|  |
| 単元の目標 | 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して，地域の場所と自分との関わりを見付け，地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに，地域の場所や人に親しみをもち，適切に接したり，安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して，自分の身近な地域には，さまざまな場所があり，さまざまな人がいることに気付いている。 | 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して，身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。 | 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して，地域の場所や人に親しみをもち，適切に接したり，安全に気を付けて生活したりしようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| まちの ことを 話そう |
| ・友達と身近な地域のことを話す中で，自分の知っている場所やまだ知らない場所などいろいろな場所があることに気付き，地域に探検に行きたいという思いを高めることができるようにする。p.24～25 | １ | ❶地域で，自分のお気に入りの場所や興味のある場所，不思議に思っている場所などについて話し合う。 | ［知技］地域には，自分の知っている場所やまだ知らない場所など，いろいろな場所があることに気付いている。 |
| たんけんの 計画を 立てよう |
| ・行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら，友達や自分の行きたい場所や時間に応じて，探検する場所を調整したり，順番を変えたりして，探検の計画を立てようとすることができるようにする。p.26～27 | 3 | ❶探検に行きたい場所について話し合い，探検先ごとのグループをつくる。❷グループごとに探検の計画を立て，計画表に記入する（探検する順番や通る道，役割，持ち物，探検のルールやマナーなど）。❸探検の計画や，探検のルール・マナーを確認し，探検に出かける準備をする。 | ［思判表］行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら，探検の計画を立てている。［態度］友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて，探検する場所を調整したり，順番を変えたりしようとしている。 |
| まちを たんけんしよう |
| ・定められた時刻を守って地域を探検する中で，見付けた物や場所について自分の生活と結び付けながら地域の人に質問し，それらの場所や物が自分の生活と関わっていることに気付くことができるようにする。p.28～29 | 3 | ❶～❸グループごとに探検に行く。 | ［知技］身近な地域の場所が，自分の生活と関わっていることに気付いている。［知技（習慣や技能）］地域を探検する際，定められた時刻を守っている。［思判表］見付けた物や場所について，自分の生活と結び付けながら，地域の人に質問したり話したりしている。 |
| 見つけた ことを つたえ合おう |
| ・探検で見付けたことを交流する中で，地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることや，それらの場所が自分たちの生活を楽しくしていることに気付き，それらを自分たちの生活に取り入れようとすることができるようにする。p.30～31 | 3 | ❶探検で見付けたことを，グループごとに振り返り，気付いたことを記録カードにかく。❷見付けたことの中で，いちばん伝えたいことを付箋にかき，絵地図に貼る。❸絵地図を見ながら，自分たちが見付けたことや分かったことなどを発表する。 | ［知技］身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり，それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。［態度］身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し，それらを自分の生活に取り入れようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 生きもの なかよし 大作せん | 教科書のページ | 下p.33～46 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 6～7月 | 学習指導要領の内容 | (7) |
|  |
| 単元の目標 | 動物を探したり飼育したりする活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけ，それらが成長していることや，生命をもっていることなどに気付くとともに，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 動物を探したり飼育したりする活動を通して，動物が成長していることや，生命をもっていることに気付いている。 | 動物を探したり飼育したりする活動を通して，動物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 | 動物を探したり飼育したりする活動を通して，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| 生きものの ことを 話そう |
| ・これまでの経験を想起しながら，身近な動物の種類やいる場所について友達と話し，身近な動物と関わりたいという思いを高めることができるようにする。p.34～35 | 1 | ❶ふだんの生活の中で見付けた動物について話し合う。 | ［思判表］これまでの経験を想起しながら，身近な動物について友達と話している。 |
| 生きものを さがそう |
| ・これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に，動物のいる場所を予想しながら動物を探す中で，動物の育つ場所の特徴に気付くことができるようにする。p.36～37 | 3 | ❶動物を探しに行く計画を立てる。❷安全に気を付けながら，友達と協力して動物を捕まえる。❸動物のために餌やすみかを整えてから，捕まえたときのことを振り返り，気付いたことを記録カードにかく。 | ［知技］動物の育つ場所の特徴に気付いている。［思判表］これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に，いる場所を予想しながら動物を探している。 |
| 生きものを そだてよう |
| ・動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら世話の仕方を決め，適切な方法で飼育する中で，動物が生命をもっていることや成長していることに気付くことができるようにする。p.38～39 | 3 | ❶飼育し続けるために必要な餌やすみかについて話し合ったり調べたりして，飼育環境を整える。❷～❸調べたり聞いたりしたことなどを基に，それぞれの動物に応じた世話をする。常時活動 朝の時間や休み時間などを使って，継続的に世話や観察をする。 | ［知技］動物が生命をもっていることや，成長していることに気付いている。［知技（習慣や技能）］適切な方法で，動物の世話をしている。［思判表］動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら，世話の仕方を決めている。 |
| 生きものの ことを つたえ合おう |
| ・飼育してきた動物について伝え合う中で，自分が動物の様子に合わせて世話をすることができるようになったことに気付くとともに，世話をしてきた動物に親しみをもち，これからも身近な生き物を大切にしようとすることができるようにする。p.42 | 3 | ❶～❷これまでの飼育活動を振り返り，グループごとに作品にまとめる。❸これまでの飼育活動について，友達と伝え合う。 | ［知技］動物の様子に合わせて世話をすることができるようになった自分に気付いている。［態度］世話をしてきた動物に親しみをもち，これからも生き物を大切にしようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | うごく うごく わたしの おもちゃ | 教科書のページ | 下p.47～58 |
| 配当時数 | 12時間 | 活動時期 | 9～10月 | 学習指導要領の内容 | (6) |
|  |
| 単元の目標 | 身近にある物を使って，動くおもちゃをつくる活動を通して，よりよく動くように改良したり，もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし，遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに，みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 身近にある物を使って，動くおもちゃをつくる活動を通して，遊びやおもちゃをつくる面白さや，自然の不思議さに気付いている。 | 身近にある物を使って，動くおもちゃをつくる活動を通して，おもちゃがよりよく動くように改良したり，もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど，工夫しておもちゃや遊びをつくっている。 | 身近にある物を使って，動くおもちゃをつくる活動を通して，みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| つくりたい おもちゃを きめよう |
| ・見本のおもちゃを動かして遊ぶ中で，自分が楽しみたい遊びを思い描きながらつくるおもちゃを決め，これからのおもちゃづくりへの思いを高めることができるようにする。p.48～49 | 1 | ❶見本のおもちゃで遊び，自分のつくりたいおもちゃを決める。 | ［思判表］楽しみたい遊びを思い描きながら，つくるおもちゃを決めている。 |
| うごく おもちゃを つくろう |
| ・おもちゃの動きを予想して使う材料を選び，安全に配慮しながら必要な道具を使っておもちゃをつくる中で，つくり方や材料を変えるとおもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。p.50～51 | 3 | ❶～❸見本のおもちゃや教科書，図鑑などを参考にして，おもちゃに必要な材料や道具を用意して，自分のおもちゃをつくる。 | ［知技］材料やつくり方を変えることで，おもちゃの動きが変わることに気付いている。［知技（習慣や技能）］おもちゃをつくったり遊んだりする際，安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。［思判表］実際に試したり比べたりしながら，おもちゃの動きを予想し，使う材料を選んでいる。 |
| もっと よく うごく おもちゃに しよう |
| ・おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち，友達と比べながら動きを予測しておもちゃを改良する中で，自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に関係性があることに気付き，繰り返し改良しようとすることができるようにする。p.52～53 | 3 | ❶自分がつくったおもちゃでほかのグループの友達と遊び，気付いたことを話し合う。❷～❸おもちゃを工夫して改良しながら遊び，よりよく動くように，グループで話し合ったり試して遊んだりする。 | ［知技］自分がおもちゃに加えた工夫と，おもちゃの動きとの間には，一定の関係性があることに気付いている。［思判表］友達のおもちゃと比べたり競争したりしながら，おもちゃの動きを予測し，おもちゃを改良している。［態度］自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち，繰り返しおもちゃを改良しようとしている。 |
| あそび方を くふうしよう |
| ・さまざまな遊び方を試しながら，みんなでより楽しく遊べるように遊び方を改良する中で，ルールや遊び方を工夫するとみんなが楽しく遊べるようになることに気付き，これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。p.54～55 | 5 | ❶みんなで楽しく遊ぶ活動について話し合う。❷みんなで遊ぶ活動に向けて準備をする。❸～❹みんなで楽しく遊びながら，おもちゃを改良したり遊び方を工夫したりする。❺これまでの学習活動を振り返り，記録カードにかく。 | ［知技］自分がルールや遊び方を工夫したことで，みんなで楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。［思判表］さまざまな遊び方を試しながら，みんなでより楽しく遊べるように，遊び方を改良している。［態度］身近な物を使ってみんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し，これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | みんなで つかう まちの しせつ | 教科書のページ | 下p.59～70 |
| 配当時数 | 6時間 | 活動時期 | 10月 | 学習指導要領の内容 | (4) |
|  |
| 単元の目標 | 公共物や公共施設の利用を通して，それらのよさを感じたり働きを捉えたりして，身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに，それらを大切にし，正しく安全に利用しようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 公共物や公共施設の利用を通して，身の回りにはみんなで使う物があることや，それらを支えている人々がいることに気付いている。 | 公共物や公共施設の利用を通して，公共物や公共施設のよさを感じたり，働きを捉えたりしている。 | 公共物や公共施設の利用を通して，公共物や公共施設を大切にし，正しく安全に利用しようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| 図書かんを つかおう |
| ・ルールやマナーを守って地域の図書館を利用する中で，学校図書館との共通点や相違点を探し，地域の図書館は，幼児や高齢者，外国の人など，多様な人々が利用する施設であることに気付くことができるようにする。p.60～61 | 3 | ❶図書館を利用することについて話し合い，出かけるための準備をする。❷～❸地域の図書館に出かけ，本を読んだり借りたりなどして図書館を利用する。 | ［知技］図書館は，幼児や高齢者，外国の人など，多様な人々が利用する施設であることに気付いている。［知技（習慣や技能）］図書館を利用する際，公共の場所でのルールやマナーを守っている。［思判表］学校図書館との共通点や相違点を探しながら，図書館を利用している。 |
| 図書かんの ことを 聞いて みよう |
| ・図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら図書館の人と関わり，図書館には多様な人々が利用しやすくなるような工夫があることやそれを支えている人がいることに気付き，これからも大切に利用しようとすることができるようにする。p.62～63 | 2 | ❶地域の図書館に出かけ，図書館のことを調べたり，図書館司書の人やボランティアの人，利用者などにインタビューしたりする。❷学校に戻り，図書館での学習活動を振り返り，記録カードにかく。 | ［知技］図書館には，幼児や高齢者，外国の人など，多様な人々が利用しやすいような工夫があることや，それを支えている人がいることに気付いている。［思判表］図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら，図書館で働く人と話したり質問したりしている。［態度］図書館は多様な人々のくらしを豊かにしていることを実感し，これからも大切に利用しようとしている。 |
| みんなで つかう しせつの ことを 話し合おう |
| ・身の回りにある公共施設について友達と話し，自分たちの地域にはみんなで使うためのさまざまな施設があり，それらを支えている人がいることに気付くことができるようにする。p.64～65 | 1 | ❶地域の公共施設について話し合う。 | ［知技］自分たちのくらす地域には，みんなで使うためのさまざまな施設があることや，それらを支えている人がいることに気付いている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | もっと なかよし まちたんけん | 教科書のページ | 下p.71～80 |
| 配当時数 | 12時間 | 活動時期 | 10～11月 | 学習指導要領の内容 | (3) |
|  |
| 単元の目標 | 地域の人々と関わる活動を通して，地域で生活したり，働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け，自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや，地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに，地域の人々に親しみや愛着をもち，適切に接したり，安全に生活したりしようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 地域の人々と関わる活動を通して，自分たちの生活は，地域のさまざまな人や場所と関わっていることや，地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。 | 地域の人々と関わる活動を通して，地域で生活したり，働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。 | 地域の人々と関わる活動を通して，地域の人々に親しみや愛着をもち，適切に接したり，安全に生活したりしようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| たんけんの 計画を 立てよう |
| ・地域の人や場所と関わりたいという思いをもち，地域に探検に行って実現できそうなことを予想しながら探検する場所や調べることを決め，探検の計画を立てようとすることができるようにする。p.72～73 | 2 | ❶探検に行きたい場所や話したい人，聞きたいことなどについて話し合い，探検先ごとのグループをつくる。❷グループごとに探検場所や聞きたいこと，コースや持ち物など，探検の計画を立て，計画表に記入する。 | ［思判表］探検に行って実現できそうなことを予想し，探検する場所や調べることを決めている。 |
| もう いちど たんけんに 行こう |
| ・地域に探検に出かけ，自分のこれまでの経験と関連付けながら，地域の場所や人の役割を探し，地域にある場所には働いている人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。p.74～75 | 3 | ❶～❷グループごとに探検に行く。❸探検活動を振り返り，気付いたことを記録カードにかく。 | ［知技］地域にある場所には，働く人や生活している人がいることに気付いている。［思判表］地域で見付けたことを自分のこれまでの経験と関連付けながら，地域の場所や人の役割を探している。 |
| 見つけた ことを しょうかいしよう |
| ・友達と自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら地域で見付けたことを伝え合う中で，もっと詳しく調べたいことがあることに気付き，もう一度探検に行こうとすることができるようにする。p.76～77 | 2 | ❶探検で見付けたことを，グループごとに整理し，全体の場で紹介し合う。❷グループごとに，次の探検の計画を立てる。 | ［思判表］友達の見付けたことと自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら，地域のことを伝え合っている。［態度］探検で分からなかったことを調べたいという思いや，もっと詳しく知りたいという思いをもち，もう一度探検に行こうとしている。 |
| まちの 人に 聞きに 行こう |
| ・相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをして地域の人と関わる中で，地域の人の地域に寄せる思いに気付くとともに，これからも地域の人々と関わろうとすることができるようにする。p.78～79 | 3 | ❶各グループで前時の学習活動を踏まえて探検の内容を検討し，計画を仕上げ，探検の準備をする。❷～❸グループごとに探検に行く。 | ［知技］探検で関わった地域の人の，地域に寄せる思いに気付いている。［知技（習慣や技能）］地域の人と接する際，相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。［態度］地域で関わった人の，地域に寄せる思いに触れ，これからも地域の人々と関わろうとしている。 |
| 分かった ことを 話し合おう |
| ・地域の人々が地域に寄せる思いの中から共通点を見出し，地域の人々のよさについて友達と話しながら，地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付くことができるようにする。p.80 | 2 | ❶探検で分かったことを，グループごとに整理してまとめ，ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。❷まち探検で分かったことを紹介し合う。 | ［知技］地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。［思判表］自分や友達が関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見出し，地域の人々のよさについて話している。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | つながる 広がる わたしの 生活 | 教科書のページ | 下p.81～94 |
| 配当時数 | 12時間 | 活動時期 | 11～12月 | 学習指導要領の内容 | (3) (4) (8) |
|  |
| 単元の目標 | 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して，相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして，身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに，進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して，身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。 | 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して，相手のことを想像したり，伝えたいことや伝え方を選んだりしている。 | 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して，地域の人々に親しみをもち，進んで触れ合い，交流しようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| つたえたいな まちの すてき |
| ・地域で関わった人のことを伝えたいという思いをもち，相手のことを想像しながら伝えることを選ぶ中で，詳しく調べたいことがあることに気付き，もっと調べようとすることができるようにする。p.82～83 | 3 | ❶秋の探検で出会った人や見付けたことを振り返り，記録カードにかく。❷「まちのすてき」を友達と伝え合う。❸出会った人や見付けたことをより多くの人に伝える計画について話し合う。 | ［思判表］伝える相手のことを想像しながら，伝えたいことを選んでいる。［態度］地域で関わった人のことを伝えたいという思いをもち，もっと詳しく調べようとしている。 |
| もっと くわしく しらべよう |
| ・伝える相手のことを想像しながら，手紙や電話を適切に使って伝えたいことについて調べる中で，地域には自分の生活を豊かにしている人々がいることに気付くとともに，身近な人々と関わることのよさに気付くことができるようにする。p.84～85 | 3 | ❶伝えたいことや，そのためにもっと詳しく知りたいこと，調べる方法について話し合う。❷～❸話し合って決めた調べ方に沿って，さらに詳しく調べる。 | ［知技］身近な人々と関わることのよさに気付いている。［知技（習慣や技能）］地域の人に連絡をする際，手紙や電話を適切に使っている。［思判表］相手のことを想像しながら，伝えたいことを詳しく調べている。 |
| つたえたい ことを まとめよう |
| ・伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら，伝え方を選んで地域の人に伝えるための作品をつくる中で，相手に応じた伝え方があることに気付くことができるようにする。p.86～87 | 3 | ❶詳しく調べたことを整理してまとめる。❷～❸調べてまとめたことについて，伝える準備をする。 | ［知技］伝える相手に応じた伝え方があることに気付いている。［思判表］伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら，伝え方を選んでいる。 |
| まちの すてきを とどけよう |
| ・適切な方法で訪問や依頼をして，地域の人のところに出かけ，つくった作品を使って，地域のよさを伝えて交流する中で，互いの気持ちがつながる心地よさに気付き，これからも進んで身近な人々と関わろうとすることができるようにする。p.88 | 3 | ❶～❷グループでまとめたことを，地域の人に伝える。❸地域の人に伝えたり，感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。 | ［知技］交流することで，互いの気持ちがつながる心地よさに気付いている。［知技（習慣や技能）］適切な方法で訪問や依頼をしている。［態度］身近な人々と関わることのよさを実感し，これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。 |
| まちの 人を しょうたいしよう |
| ・伝える相手に合わせた伝え方を選んで，地域の人に地域のよさを伝える中で，自分が伝えたことで地域の人が喜んでくれたことに気付き，これからも地域の人々と交流しようとすることができるようにする。p.89 | 外 | ・保護者や地域の人など，身近な人々を学校に招待するための準備をする（手紙やポスターなど案内の作成，発表会の練習）。・招待した人々に，心に残った地域での出来事を伝えたり感想を聞いたりする。 | ［思判表］伝える人に合わせた伝え方を選び，地域の人に伝えている。［態度］自分が伝えたことで地域の人が喜んでくれたことを実感し，これからも地域の人々と交流しようとしている。 |
| 冬の 行じに さんかしよう |
| ・地域の行事に参加して，行事を支える人々と関わる中で，自分たちの地域には季節を生かした行事があることに気付き，これからも地域の行事に参加して，自分の生活を楽しくしようとすることができるようにする。p.92～93 | 外 | ・冬の行事に参加して，行事について調べたり，参加している人と関わったりする。・冬の行事に参加して感じたことや気付いたことなどを話し合い，記録カードにかく。 | ［知技］自分たちの地域には，季節を生かした行事があることに気付いている。［態度］身近な季節を生かした行事のよさを実感し，それらに参加し，自分の生活を楽しくしようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | あしたへ ジャンプ | 教科書のページ | 下p.95～106 |
| 配当時数 | 27時間 | 活動時期 | 1～3月 | 学習指導要領の内容 | (9) |
|  |
| 単元の目標 | 自分の生活や成長を振り返る活動を通して，過去と現在の自分を比べたり，支えてくれた人々との関係を見付けたりして，自分でできるようになったことや，役割が増えたことなどに気付くとともに，支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち，これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。 |
|  |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 自分の生活や成長を振り返る活動を通して，自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。 | 自分の生活や成長を振り返る活動を通して，過去と現在の自分を比べたり，自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。 | 自分の生活や成長を振り返る活動を通して，自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち，これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。 |
|  |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
| 大きく なった 自分の ことを ふりかえろう |
| ・これまでの表現作品などを手がかりに，過去と現在の自分を比較しながら，自分の成長について振り返る中で，自分でできるようになったことや大きくなったことに気付き，もっと自分のことについて調べようとすることができるようにする。p.96～97 | 3 | ❶写真や動画，記録カード，作品などの手がかりを基に，入学してからの出来事をみんなで振り返る。❷これまでにつくった表現作品やかきためてきた記録カードを見て，２年間の成長を振り返る。❸前時にまとめたものを，グループや全体で紹介し合う。 | ［知技］自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。［思判表］過去と現在の自分を比較しながら，自分ができるようになったことや大きくなったことについて話している。 |
| 大きく なった 自分の ことを しらべよう |
| ・自分のことをもっと知りたいという思いをもち，振り返ったことや調べたことをつなぎ合わせて，自分の成長について調べる中で，優しさや思いやり，我慢する心など，内面の成長に気付くことができるようにする。p.98～99 | 6 | ❶～❷友達との関わりを振り返り，互いのすてきなところを見付け，カードにかいて渡し合う。❸～❺お世話になった人や家の人などに，自分の成長についてインタビューする。❻友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに，過去の自分と比較し，自分の成長について話し合う。 | ［知技］優しさや思いやり，我慢する心など，内面の成長に気付いている。［思判表］自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ，自分の成長について話したりかいたりしている。［態度］自分のことをもっと知りたいという思いをもち，身近な人に聞いて調べようとしている。 |
| 自分の ことを まとめよう |
| ・自分の成長についてまとめたいという思いをもち，いちばんかきたいことを選び出して作品に表す中で，自分自身のよさや可能性に気付くことができるようにする。p.100～101 | 9 | ❶前時までに調べたことを基に，どんな出来事をどんな方法でまとめるのか，決める。❷～❼資料や材料を集め，方法を工夫しながら，自分の成長をまとめる。❽～❾つくった作品を友達と紹介し合い，まとめたことを振り返る。 | ［知技］自分自身のよさや可能性に気付いている。［思判表］自分の成長について気付いたことの中から，いちばんかきたいことを選び出し，作品に表している。［態度］自分の成長についてまとめたいという思いをもち，適切な方法で作品をつくろうとしている。 |
| ありがとうの 気もちを つたえよう |
| ・周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け，周囲の人々に感謝の気持ちを伝える中で，自分はたくさんの人に支えられて成長していることに気付き，３年生でも意欲的に生活しようとすることができるようにする。p.102～103 | 9 | ❶～❷招待したい人を決め，発表会の計画を立てる。❸～❺発表の準備をする。❻～❽発表会を開く。❾発表会を振り返り，話し合う。 | ［知技］自分はたくさんの人に支えられて生活し，成長していることに気付いている。［思判表］周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け，感謝の気持ちを話している。［態度］これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち，３年生でも意欲的に生活しようとしている。 |